

子どものための京都式少人数教育推進費

「まなび教育推進プラン」の重点施策の具体化のため、小学校で30人程度の学級編制が可能となるよう少人数教育を充実

義務教育9年間を見通して、学年の特性や児童生徒の発達段階に即して指導方法・指導体制を工夫

京の子ども・少人数教育推進費

次の3つから市町村が選択

少人数授業

子どもの興味・関心や習熟の程度などによって、特定の教科で学級の枠を超えた20人程度のグループで指導

チームティーチング

1クラスを2人の教員が協力して指導

少人数学級

40人未満の人数で学級を編制

小学校

1年

2年

小学校

3年

4年

5年

6年

中学校

1年

2年

3年

小学校低学年指導充実費
(継続)

予算額 764,993千円

○授業等に集中できなかったり、教員との関わりを強く求める小学1、2年生で2人の教員による指導を実施

京の子ども・少人数教育
推進費(拡充)

予算額 7,248,480千円

○30人程度の学級編制が可能となるよう教員配置を充実

拡充分

| | 教員数 | 予算計上額 |
|------|-----|-----------|
| 20年度 | 40人 | 200,000千円 |
| 21年度 | 20 | 100,000 |
| 22年度 | 20 | 100,000 |

全中学1年生英数少人数教育
実施費(継続)

予算額 95,902千円

○中学校1年生で英語・数学の少人数教育を充実

